

令和元年度多文化共生地域会議 神奈川県資料

# 神奈川県が多文化共生の取組 について



神奈川県国際文化観光局国際課

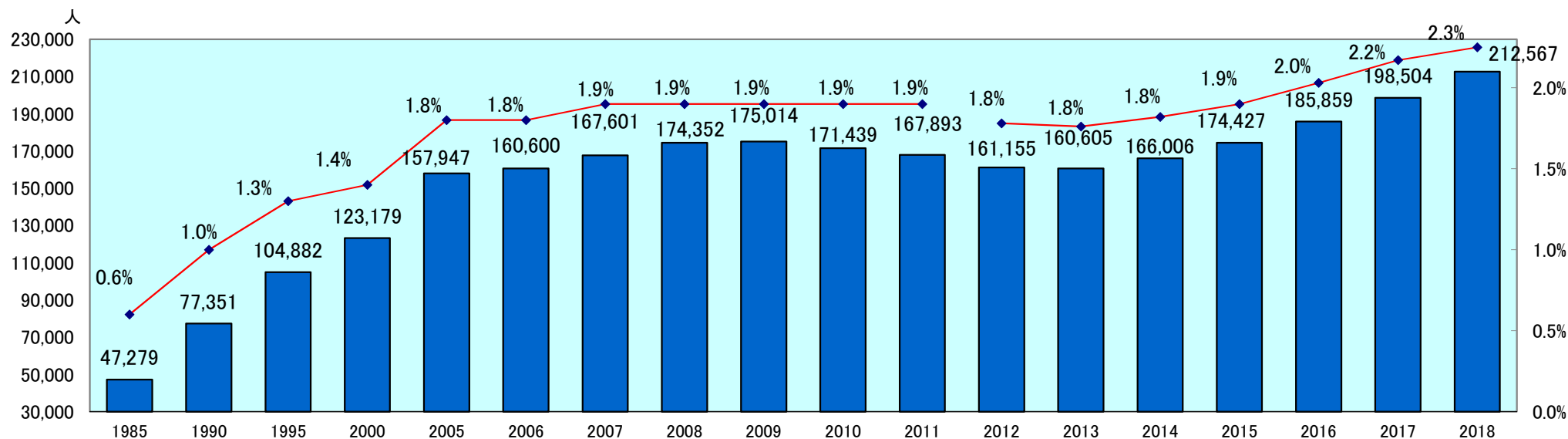
# 神奈川県内の外国人人数

2019年1月1日現在

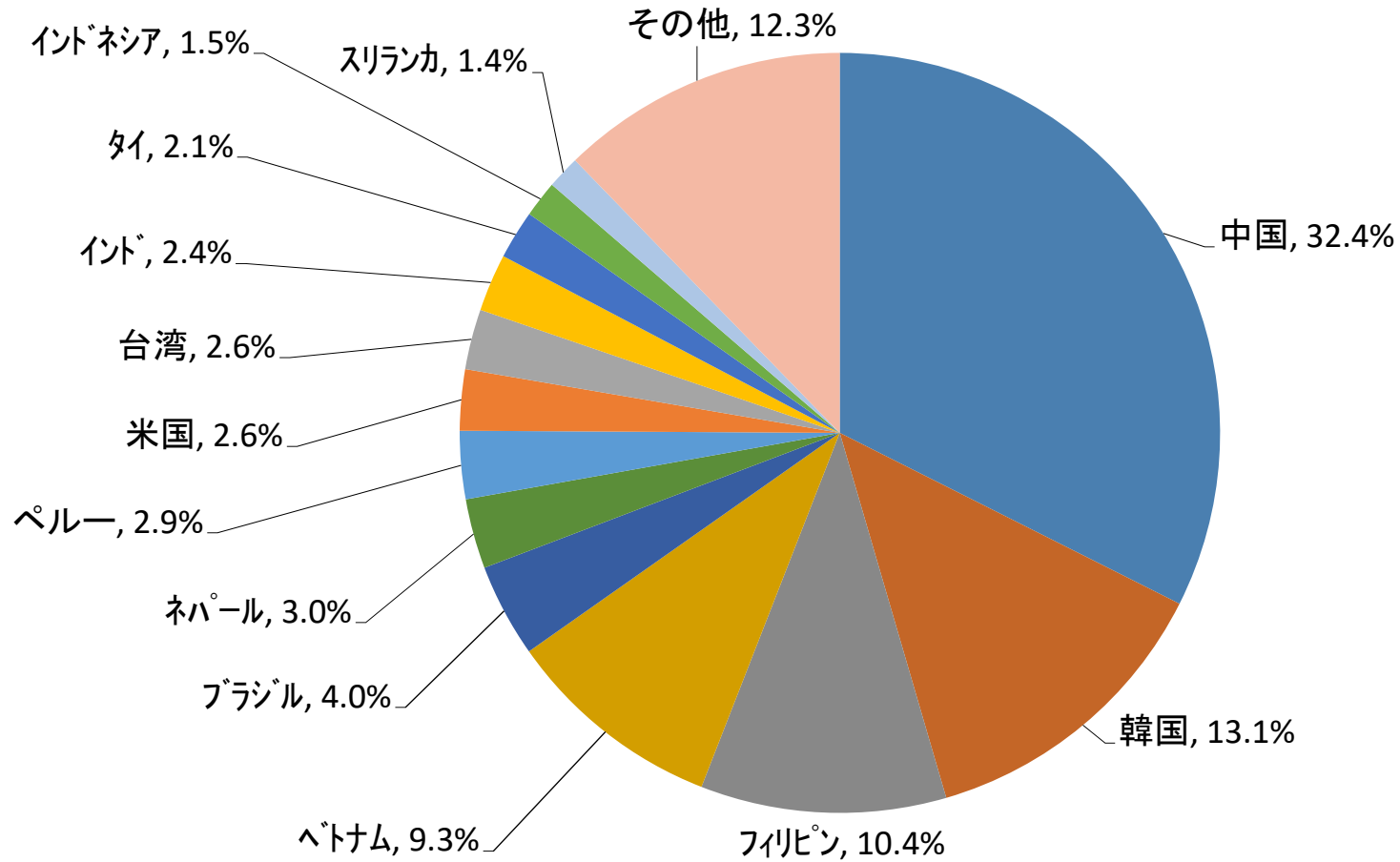
●約21万2千人 ●174の国・地域の方が住んでいる。

2018年1月1日現在

●約19万8千人 ●173の国・地域の方が住んでいる。



# 神奈川県内の外国人数の出身地別割合



神奈川県内の外国人数(県国際課調べ)2019年1月1日現在

# 外国籍県民相談(一般・法律・教育相談)



平成元年度から相談事業開始。平成23年度からは地球市民かながわプラザの指定管理の中で実施

- 場所:地球市民かながわプラザ 【横浜】  
県民の声・相談室 【川崎】  
県央地域県政総合センター 【厚木】

※川崎は一般相談のみ ※教育相談は地球市民かながわプラザのみ

- 言語:英語、中国語、韓国朝鮮語、  
スペイン語、ポルトガル語、  
ベトナム語 等 ※相談内容による

- 内容:入国関係、医療、福祉、年金、  
住まい、仕事、婚姻、国籍、教育 等

法律的な内容の場合は、弁護士が相談に対応。

教育相談は教育コーディネーターが、相談に対応。

# 外国籍県民かながわ会議



- 平成10年に設置
- 外国籍県民が、外国籍県民に関する施策や外国籍県民の視点を生かした地域社会づくりに関することを協議し、知事へ提言を行う。
- 議題の選定をはじめ、委員が自主的に運営を行う点が特色

# 多文化共生イベント 「あーすフェスタかながわ」の開催



世界屋台村



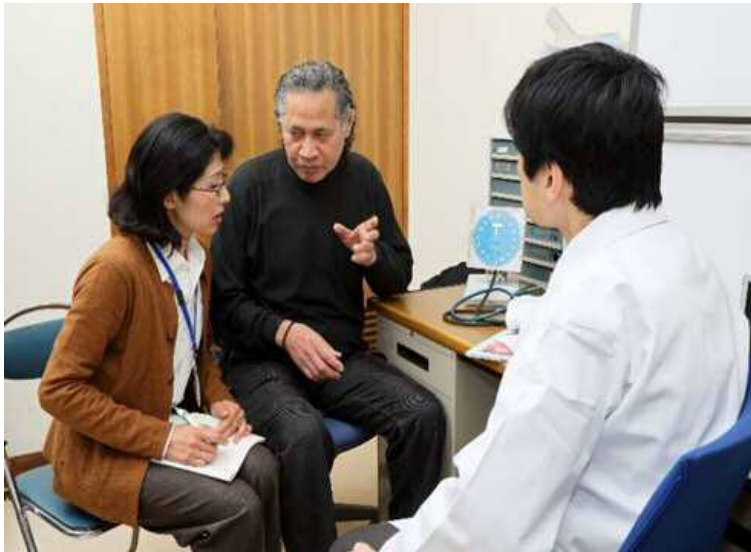
様々な国の伝統的な踊り



世界のあいさつ教室

- 平成12年から開始
- 民族団体やNGOなどが中心となって運営
- テーマ 「みんなで育てる多文化共生」

## 医療通訳派遣システム事業



- 平成15年度から、かながわボランティア活動推進基金21の協働事業として開始
- 協定医療機関からの派遣依頼を受け、医療通訳ボランティアを派遣する事業
- 対応言語：中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語、タガログ語、タイ語、英語、ベトナム語、ラオス語、カンボジア語、ロシア語、フランス語、ネパール語の13言語

# 多言語支援センターかながわの運営



- 平成28年6月に開設
- ワンストップ的相談窓口

- 外国籍県民や来県外国人への情報提供・通訳支援を多言語で行うセンター
  - ・コールセンター「多言語ナビかながわ」の運営
  - ・通訳者が不足している言語の人材確保
  - ・外国籍県民と接する仕事に関わる人材の研修
  - ・通訳ボランティアの紹介
  - ・災害時通訳ボランティア養成研修



# 多言語ナビかながわの拡充

【令和元年5月まで】

	月	火	水	木	金
英語		○	○		
中国語	○			○	
タガログ語	○	○			
ベトナム語				○	○
スペイン語			○		○
やさしい日本語	○	○	○	○	○



【拡充後（令和元年6月から）】

	月	火	水	木	金
英語		○	○		
中国語	○			○	
タガログ語	○	○			
ベトナム語		○		○	○
スペイン語			○		○
ポルトガル語				○	○
ネパール語	○		○		
タイ語	○				○
韓国・朝鮮語	○		○		
インドネシア語					○
やさしい日本語	○	○	○	○	○

○改正入管難民法の施行により、今後、外国籍県民の増加が見込まれる。

○国が求める「多文化共生総合相談ワンストップセンター」(11言語)に対応するため、コールセンター「多言語ナビ」を拡充

○拡充内容

- ・これまでの6言語に5言語を加え、11言語対応に
- ・ニーズの多いベトナム語の対応日を1日加え、週3日に